

@幸せな贈り物

とをる 命を 運命 宿え 越 幸せの 条件

生きることが大変だと言うとしても
私が幸せでないという意味では
ありません。
私が今、幸せだと言うとしても
私に苦しみがないという意味では
本当にありません。
心の扉
パッと開けば
幸せは
千個の顔で
いや無限大で
来ることを
毎日新しく経験します。
どこかに隠れていて
きれいな翼をつけて
こっそり現れるかもしれない
私の幸せ
幸せと鬼ごっこする
ときめきの喜びで生きることが
今日も幸せです。

4月15日にプサン東亜大プミンキャンパスで開かれたドリームシティ多文化共同体創立2周年記念後援の夜でイ・ヘイン修道女が直接朗読した自作の詩です。

2008年に大腸ガンになった後、闘病生活を継続しているイ・ヘイン修道女は、かすかに微笑みながら告白しました。

「私が病んでいる時に書いた詩を人々がインターネットでたくさん読みました。人生はイバラの道と言いますが、私たちが感謝を叫べば、その道を花道にすることができます」そして、韓国に来ている外国人移住女性の困難をよく知っている彼女は「すべてのことが思い通りにならなくて大変なとき、この詩を読んでもみるのも良いと思います」と求めました。

心がとても苦しいとき
 一日ずつだけ生きることにした。
 からだがとても痛いとき
 ただ一瞬ずつだけ生きることにした。
 感謝することだけ記憶して
 愛することだけ思い出しながら
 どんな場合にも
 他人のせいにしないことにして…

ガン闘病中であるイ・ヘイン修道女が見せた幸せの顔、このニュースを聞きながら、もうひとりのことを思うようになりました。

「幸せ伝道師、幸せデザイナー」と呼ばれたその人は、「娘たちよ、七回倒れれば八回目に起きなさい!」という文などで数多くの女性に幸せの希望をプレゼントしていました。

それで、その人はいつでもひたすら幸せであると思われていました。

しかし、彼女は2年余りの闘病生活の前に、自分の幸せをあきらめて、夫とともに一緒に自殺してしまったのです。

いったい人間を幸せにするまことの幸せの条件は何でしょうか。

熱心に誠実に生きること、正しく誠実に生きること、互いに信じて奉仕しながら生きること、夢に向かって挑戦しながら努力することなどが、はたして人生に永遠な幸せをもたらすことができるのでしょうか。

明らかな事実一つは、神様の願いは私たちの幸せだということです。

それで、その道を神様ご自身が開いてくださいました。

永遠な幸せのはじまり ある日、だれにでも突然に訪ねてくる避けられない呪いと災いの前に、人間は運命と宿命という言い訳をしながらあきらめたりします。

はたして、運命と宿命のせいでしょうか。

本来の人間には幸せになるしかない創造の原理がありました。

魚が水の中に、鳥は空中で、木は土の中に根をおろして生きなければならないように、神様とともに生きてこそ、まことの幸せを味わうように創造された人間の創造原理。

しかし、暗やみの勢力（サタン）にだまされて創造原理を抜け出して神様を離れた後、人間に訪ねてきたやみの人生シナリオ。自分も知らないうちにサタンの支配を受けながら、理解できない霊的問題と生年月日による運命がもたらす偶像崇拜に苦しめられ、名前も分からない不安と空虚、不眠症とうつ病、背景も良くて知識も多くてお金も多いのに、押し寄せるむなしさとさまよい、結局、受けなければならない肉体の病氣と苦しみ、その中で繰り返す失敗と死んだ後に行かなければならない地獄の永遠な審判、そしてやむを得ず子どもたちの心に残していかなければならない霊的な遺産と傷…これがサタンというやみの勢力がもたらした人生の不幸なシナリオです。

人間自らではこの問題を解決できないので、神様はこの問題を解決してくださるために救いの道を開いてくださいました。

私たちが罪人であった時に「**キリスト**」を送って、人間の罪を身に受けて十字架に死んで、復活されることによってサタンの権威を打ち砕き、すべての罪と呪いを解決して神様に会う道を開いてくださいました。(1ヨハネ3:8、マルコ10:45、ヨハネ14:6)

この方こそが、キリストであるイエス様です。だれでもキリストとして来られたイエス様を信じて受け入れれば、直ちに神様の子どもになります。このときはじめて、人間には聖書に約束されたすべての神様の祝福とまことの幸せが始まるのです。

最高の幸せのストーリーは、人生のすべての問題解決者であるイエス・キリストとともにいることです。

「あなたに向かった神様の願いは永遠な幸せです」

あなたは私の心に喜びを下さいました。それは穀物と新しいぶどう酒が豊かにあるときにもまさっています。平安のうちに私は身を横たえ、すぐ、眠りにつきます。主よ。あなただけが、私を安らかに住まわせてくださいます。(詩篇4:7~8)

だれも教えてくれない 霊的存在

人間のどんな条件とも関係なく、根本的に不幸にさせる霊的な存在があるなら、どうしますか。だれも、どこでも教えてくれない暗やみの存在に対する実体を聖書は私たちに一つ一つ教えてくれています。

いったい人間を不幸にする実体は何でしょうか。

聖書はその名前をサタン、あるいは悪魔、その手下を悪霊だと明らかにしています。創世記 3 章を見れば、目に見えないサタンは、目に見える蛇を利用して、初めから巧妙な嘘で人間をだまして神様を離れるようにさせました。その結果、人間のたましいはサタンに支配されるようになり、苦難と失敗の中に、願ってもいない苦しみと分からない問題にからまって人生を生きるようになったのです。

いったいサタンはどんな存在で、どこからきたのでしょうか。ヨハネの黙示録 12 章 9～12 節を見れば、天から落ちた御使い、墮落した御使いだと話しています。

エゼキエル 28 章 13～17 節に天国で音楽を担当していた御使いが傲慢になって神様に敵対して墮落してしまい、追い出されるようになったのです。神様を賛美する特別な機会を持っていたのですが、神様の座を欲しがって地に追い出されたのですが、その墮落した隊長がサタンで、それにしたがって天から追い出された存在が悪霊です。

御使いの能力を持って追い出されたサタンは、人間に現れて、人生と家庭を倒して、社会と人間関係を倒して、墮落経済を作って、暗やみ文化を作っています。特に神様を知らないようにさせて、神様と遠ざかるように事を企てます。

サタンはいつでも巧妙に神様でない他の偶像に仕えるようにさせます。そしておかしい宗教を作って、無駄になるむなしい人生を生きるようにさせます。文化と音楽という名目で快楽を与えるふりをしながら、まことの幸せを奪っていったり、暗やみの組織をつくって、たましいを荒廃させて、地獄に入る時まで人間を困らせます。

聖書は、このサタンが偽りの父で滅ぼす者だと確かに明らかにしています。この存在は、今日も数多くの人々を墮落させて、滅びるようにさせる暗やみ文化、暗やみ経済で、理解できない呪いと災いで、悪霊にとりつかれたシャーマンを先頭に押し立てて運命と宿命を解決するという名目で人間を不幸にさせています。

このサタンと悪霊の働きに勝つ道、その道が福音です。ヨハネの手紙第一 3 章 8 節で、イエス・キリストがこの世に來られたのは、悪魔（サタン）のしわざを打ちこわすために來られたと言われています。そして、イエス・キリストを信じて神様の子どもになった人々に、サタンの力を制御する権威、悪霊を追い出す権威をくださると約束されました。今でもイエス・キリストの御名を呼べば、サタンと悪霊の勢力は離れるようになります。

「幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返ってその霊に、『イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け』と言った。すると即座に、霊は出て行った。」使徒 16:18

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してください。くださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



マタ ホセブ?

世界の人口の0.2%に過ぎないイスラエルは、小さい国だが大きい国だ。イスラエル民族であるユダヤ人の総人口は約1,600万人で、アメリカに684万人、イスラエルに約500万人が居住していて、領土は20,770平方キロメートルで、韓国のカンウONDとキョンギドを合わせたくらいの大きさだ。

今までノーベル賞を受けた人を最も多く輩出した国がユダヤ人だ。ノーベル賞を受賞した人は、今までみんなで300人程度だが、その中の93人がユダヤ人だ。経済分野で65%、医学分野で23%、物理分野で22%、化学分野で12%、文学分野で8%をユダヤ人が受賞した。アメリカの人口の2%であるユダヤ人は、生活で上位400家族の中に24%、最上位40家族の中に42%を占めている。アメリカには弁護士が70万人いるのだが、彼らの中で20%である14万人がユダヤ人だ。

ニューヨークの中・高等学校の教師の中で50%がユダヤ人だ。国民投票で当選したアメリカ国会議員の535人中42人がユダヤ人だ。アメリカの有名な大学プリンストン大学、ハーバード大学の教授の中で25~35%がユダヤ人だ。ところで、そのうち総長、主

要な行政責任者の90%がユダヤ人だ。歴史の中で偉大な人物である出エジプトのモーセ、知恵の王ソロモン、共産主義創始者カール・マルクス、心理学者フロイト、画家シャガール、相対性理論家アインシュタイン、世界的指揮者バーンスタイン、外交家キッシンジャー、ジュラシックパーク映画を作ったスピルバーグ監督など、これらすべてユダヤ人だ。

どのように、こんなに少数民族に過ぎないユダヤ人が世界の中で迫害を受けながらも、独歩的な位置を獲得できたのかはなぞのようなものだ。しかし、私たちは彼らの教育を通して、彼らが特別であることを維持する秘訣を識別できる。彼らは聖書を持っている。人類最高の人文古典の本がまさに聖書だ。歴史の中で消えない人文古典は、哲学と思想を成し遂げて、人類に広く知られて読まれてきたが、それは形而下の本で、ただ聖書だけが形而上の本だ。人類のための本である人文古典を真面目に読めば、人間が持てる最高の価値を得る。その証拠が、こんにちも最高のエリートが基本的に人文古典の読書の伝統を守ることから知ることができる。その経験が人類に知恵を育ててきたが、現代の教育は知識を与えるが知恵を遮っている。しかし、人文古典の結果は、人間にむなしい霊的状态をもたらすようにさせる。

人間の最高価値は、神様に会うところにあるのに、神様を離れて最高の知恵を持つということは、結局、無駄になる策略にはまったことなのだ。ユダヤ人は最高の古典である聖書を毎日読んで、暗唱して書く。そして、彼らは教育の時間ごとに、あるいは、家庭で子どもたちに尋ねる。

「マタ・ホセブ?」このことばはヘブル語だが、「What do you think?」ということで「お前の考えは何なのか?」だ。人文古典を読んで書いて考えれば、天才になる。しかし、霊的古典である聖書を読んで書いて考えれば救いの道に立つようになる。

それなら今日あなたの考えはどうなのか?

チョン・ヒョングク(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ